

おでかけウォッチャー（観光動態統計システム）の導入について

<目的>

現在、関係課において Rebuilding 事業を進めているが、特に観光分野においては、正確な観光データの現状分析やターゲット及びコンセプトを設定することが重要である。

そこで、観光動態統計システムを導入し、スマートフォンの位置情報データを活用することで、観光客が「本市のどこに来ているのか」（来訪地分析）、「どこから来ているのか」（発地分析）、「どんな人が来ているのか（スポット毎、性年代構成比）」（属性分析）、「どことどこを周遊しているのか」（周遊分析）等のデータ収集及び加工が可能になる。

本システムを導入して、市や観光協会が主催するイベント等の観光動態を分析し、今後の観光政策に活用していく。

<機能>

プレミアムサービス（有償） 国内版

- ・ 来訪地分析
- ・ 発地分析
- ・ 属性分析
- ・ 周遊分析
- ・ 旅程分析（日帰り・宿泊）
- ・ 時間分析